

2009年11月9日

石炭火力発電所副産物総合利用における日中協力関係を構築

(財)石炭エネルギーセンター

1. 財団法人石炭エネルギーセンター（JCOAL、会長：中垣 喜彦）は、昨日、北京で開催された第4回日中省エネルギー・環境総合フォーラム（主催：経済産業省、日中経済協会など）において、中国の李克強副総裁のご挨拶、日本の直嶋経済産業大臣、中国の解振華国家発展改革委員会副主任らの立会いの下、中国建築材料联合会（CBMF、会長：張 人為）と「石炭火力発電所からの副産物の総合利用に関する協力合意書」を交換しました。
2. JCOAL は統合前の(財)石炭利用総合センター時代より石炭灰の利用に関する研究・調査・利用普及活動を行っており、中国建築材料联合会は、中国における石炭灰利用に関する研究・利用普及を中心となって行っている組織です。この度、両国において石炭火力発電所からのフライアッシュ、脱硫石膏、溶融スラグ等の副産物を有効利用することにより、省資源や、環境負荷低減を推進するために覚書締結の運びとなりました。
3. まず、石炭火力発電所からの副産物の総合有効利用をテーマとして、相互の関連産業の政策調査、情報交流、技術セミナー・国際フォーラムの開催等、さまざまな形で技術交流および、技術協力を行うとともに、お互いの国の状況及びニーズ、シーズを的確に把握し、長期的で、効果的かつ実務的な協力体制を構築します。
4. また、日中間の具体的な共同事業促進を目指して、更なる協力を行います。そして、日中で協力して、アジア諸国等の第3国での共同事業の可能性を探って参ります。

以 上